

表「ウェルビーイング in アジア」女性リーダー育成プログラム

科目群	科目名	年次・単位	目的・履修要件
基盤科目 (A) プラットフォーム 共通科目 (5 単位)	多文化共生特論 I~V Lecture on International Development II (Cross-Cultural Talk)	M1~D3 各 1 単位 合計 5 単位	多文化共生の基盤となる異文化理解を深めるとともに、アジアに共通する課題を発掘する。各年必修。
基盤科目 (B) プラットフォーム 共通選択必修科目群 (6 単位)	社会心理学研究 I <sup>b</sup> , 教育人類学研究 I <sup>b</sup> 文化・社会研究方法論 <sup>a</sup> , 日本の開発経験 <sup>a</sup> , 国際開発入門 <sup>a</sup> , 開発援助論 <sup>a</sup> , 社会医学 <sup>c</sup> , Health Care Administration <sup>c</sup> , Principle in Bioagricultural Sciences IV <sup>d</sup>	M1~M2 各 2 単位以上 合計 6 単位	ウェルビーイング領域の研究の基盤となる幅広い開発リテラシーと学際的な視野を身につけ異文化への理解を促進する。 6 科目のうち、出身研究科の開講科目および国際開発研究科の開講科目各 1 科目を含む 3 科目以上を履修すること。国際開発研究科の学生は、他研究科科目を 1 科目以上履修すること。
基盤科目 (C) 選択必修科目群 (6 単位)	1) 「人の移動と異文化理解プログラム」 <sup>a</sup> 科目: アジア文化交流論, エスニック・スタディ, 国際文化社会動態論 2) 「社会開発と文化プログラム」 <sup>a</sup> 科目: 多民族社会論, 貧困削減政策論, 参加型開発と社会文化変容 3) 「農村地域開発マネジメントプログラム」 <sup>a</sup> 科目: 農村開発論, 地域開発計画論, 内発的発展論 4) 「教育・人材開発プログラム」 <sup>a</sup> 科目: 教育開発政策論, 教育開発・協力論, 教育と保健 5) 国際開発プログラム共通科目 <sup>a</sup> : フィールドワーク入門, 開発協力論, 国際開発特論 I (国際キャリア・ディベロップメント) 6) 「国際社会文化コース」 <sup>b</sup> 科目: 人間形成学研究 I, 教育社会学研究 I 7) 「医療行政学コース」科目 (例): 国際保健医療学, 臨床医学概論, 病理病態学 8) 「保健学コース」 <sup>c</sup> 科目 (例): 生命倫理学, Introduction to Healthcare system in Asia, コンサルテーション論, 医療管理概論 9) 「生命農学国際コース」科目 (例): 資源生産生態学, 循環資源学特論 I, 生命技術国際協力論	M1 後期~M2 合計 6 単位	専門教育への導入を行いつつ、ウェルビーイング領域の研究の基盤となる幅広い 開発リテラシーと学際的な視野を修得し、多文化社会アジアへの理解を探究する。 出身研究科の開講科目および国際開発研究科の開講科目 1 科目を含む 3 科目を履修すること。
演習 (4 単位)	ウェルビーイング演習 I ウェルビーイング演習 II	M1, M2 各 2 単位	出身研究科の演習 I および演習 II を履修し、研究能力の向上を図る。
グローバルリーダー特別講義	グローバルリーダー I, グローバルリーダー II グローバルリーダー III, グローバルリーダー IV	M1~M2 各 1 単位以上、	国際機関、JICA、民間企業でグローバルに活躍する女性リーダーによるゲスト講義シリ

表「ウェルビーイング in アジア」女性リーダー育成プログラム

(選択必修科目) (4 単位)	体験型講義「リーダーシップ」 体験型講義「チームビルディング」	5 年間修了 までに合計 4 単位	ーズ。グローバルリーダー I～IVの2科目以上を含む、3科目以上を履修すること。
英語科目 (4 単位)	Relationships and Communication I, Relationships and Communication II, Academic Writing I, Academic Writing II, Presentation I, Presentation II	M1～M2 各 2 単位 合計 4 単位	国際的な場で臆せず自分の考えを明確で効果的に伝え、専門的な論文を英語で書き、国際機関で働くために必要な英語能力を身につける。2 科目以上を履修すること。
実践的科目 (選択必修科目) (4 単位)	ウェルビーイング海外実地研修 I, ウェルビーイング海外実地研修 II, ウェルビーイングインターンシップ研修(option)	M1～D3 M1～M2 で 2 単位以上、 修了までに 合計 4 単位	4 研究科 5 領域の学生混合グループによる学際的な合同海外研修で課題に取り組む。研修事前準備に現地語学習を取り入れる。
博士論文研究 (6 単位)	博士論文研究	D1～D3 合計 6 単位	博士論文研究の完成と学位取得のために、他研究科の教員を含む 3 名の教員の指導の下、研究指導体制が組まれる。

注：科目名の末尾は、講義を開講する研究科名を示す。a: 国際開発研究科、b: 教育発達科学研究科、c: 医学系研究科、d: 生命農学研究科。国際開発研究科の開講科目は一部を除き、英語による開講。